

月刊

# エルダリープレス

～シニアの快適生活を応援する～ シニアライフ版

2016年(平成28年) 7月号 第23号

(株)高齢者住宅新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15  
TEL.03-3543-6852(編集部) 発行人 網谷敏数  
http://www.koureisha-jutaku.com

—Elderly Press Newspaper—

第18回 トラベルヘルパー担い手の変化

トラベルヘルパーは、介護旅行の相談から同行まで、車いすを利用しているなど身体の不自由な方の旅をアシストする専門職として活動を続けていますが、そうした人材の育成は、20年ほど前に旅行添乗員、ツアーコンダクターに対する上級研修としてスタートしました。

## 「ツアコン」から「福祉人材」に

当初は、高齢者特有の病気に對する理解をテーマとして行っていました。介護保険制度が始まった2000年以降は、医療機関や介護事業者など、福祉分野で活躍する専門職の方が職能を高め、職域を広げようという場となりました。現在その活動は、NPO法人日本トラベルヘルパー(外出支援専門員)協会へ移管・継承され、大都市や地方の温泉観光地など、すでに200回を超える講座を全国で開催してきました。トラベルヘルパーは旅の同行



▶満開の桜と富士山、日本の春を満喫したひとときでした

## 安全! 快適! 介護旅行



SPIあ・える倶楽部社長  
篠塚 恭一  
1961年千葉市生まれ。大手旅行会社の添乗員を経て91年(株)SPI設立。ホスピタリティ人材の育成派遣に携わる。95年よりトラベルヘルパーの育成をはじめ、旅のユニバーサルデザイン、介護旅行「あ・える倶楽部」の普及に取り組む。06年NPO法人日本トラベルヘルパー(外出支援専門員)協会設立。著書「介護旅行に出かけませんか」(講談社)他。(株)SPI あ・える倶楽部代表取締役社長。NPO日本トラベルヘルパー(外出支援専門員)協会理事長

以外に、旅行づくりを通じて行う介護予防への取り組みも行っています。少人数の高齢者グループが、2ヵ月ほどかけて自分の行きたい旅を仲間と話し合っで決め、コースづくりから現地調査、費用算出まで、旅行会社のプランナーさながらに旅を作ります。そして実際にそのプランを実施して内容を検証し発表まで行います。

他人任せの旅は印象が薄く、頭もさほど使いませんが、自分でプランニングから関わった旅なら、深い愛着がわき、記憶にも留まります。脳トレ旅行教室——この一連の過程に認知力測定を交え、すでに10年近く、研究機関や自治体と協働して取り組んできました。

昨今、トラベルヘルパーの活動は、国から介護保険制度に関連する必要なサービスとして、その事例が推奨されるようになってきました。紹介されるにあたり、介護旅行で活躍する姿に焦点が当てられることが多いのですが、このような介護予防への取り組みも、トラベルヘルパーのもう一つ大きな役割なのです。